



今回は、各教科による授業改善の報告です。

◇ 各教科による授業改善とSGH活動

関高校では、SGH 活動で行っている課題解決型研究、国際貢献活動を推進する力の育成をめざした活動を、教科指導の中でも行っています。過去 2 年間、ICT を活用した授業、コミュニケーション力や言語活用力、課題発見・課題解決力を高める授業となるよう改善を行った結果、積極的に意見交流したり、主体的に課題解決したりする姿が見られるようになってきました。

こうした力は、1・2 年生で取り組んでいる課題解決型研究に関わる活動において、徐々に発揮されるようになりました。たとえば、1・2 年生ともに、自ら積極的に外部機関とコンタクトを取ってインタビューやフィールドワークを行ったり、ボランティアや啓発活動に積極的に取り組むなどの姿勢が前年度より増えました。

◇ 授業改善と 21 世紀型能力

国立教育政策研究所は、急速にグローバル化が進行する今日必要とされる能力や資質を、21 世紀型能力と命名しています。21 世紀型能力は、「思考力」を中核とし、それを支える「基礎力」と、使い方を方向づける「実践力」の 3 層構造から成り立ちます。

言語スキル、数量スキル、情報スキルの知識と技能の習熟から成り立つ基礎力。基礎力を土台に、論理的・批判的思考力、課題発見・解決力、創造力、メタ認知、適応的学習力といった能力を発揮することをめざす思考力。基礎力と思考力を現実の環境で駆使し、道徳的・倫理的視点から実社会で生かす実践力。

関高校では、授業や部活動、学校行事、SGH 活動等、あらゆる教育活動を通じて、21 世紀型能力を育みます。中でも各教科の授業は学校教育の根幹に関わるものであり、生徒にとっては、仲間とともに自己を鍛錬する最大最多の機会といえます



「21 世紀型能力」 国立教育政策研究所HP より

www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pf_pdf/20130627_4.pdf

◇ 授業改善に向けた各教科の取組

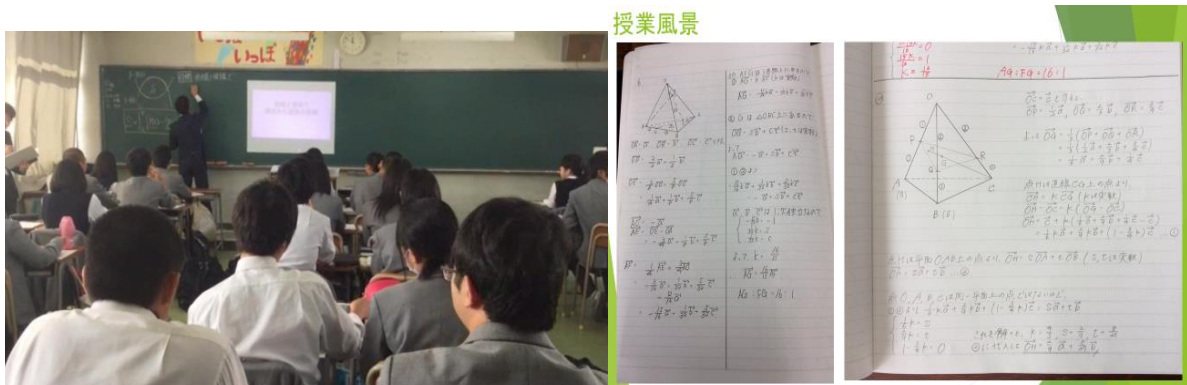
英 語

I C Tやウェブ動画を活用した英語授業の様子。反転授業の手法を用い、各自のスマホを活用。私的デバイス活用（Bring Your Own Device）の可能性を探った授業。



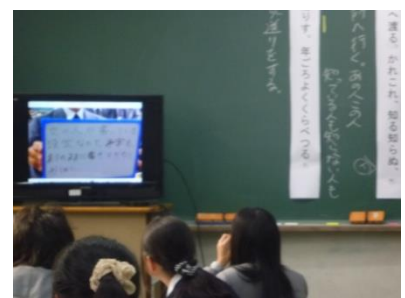
数 学

グラフ作成ソフトや写真機能を活用し、理解を深める工夫を凝らした授業の様子。写真機能の活用により、複数の生徒の解答をクラス全体で共有し、学びを深めています。



国 語

グループで課題に取り組み、教師がタブレット端末（iPad）を活用して意見を共有しました。ホワイトボードで意見集約し、各グループの意見をモニターで共有し強いる様子。



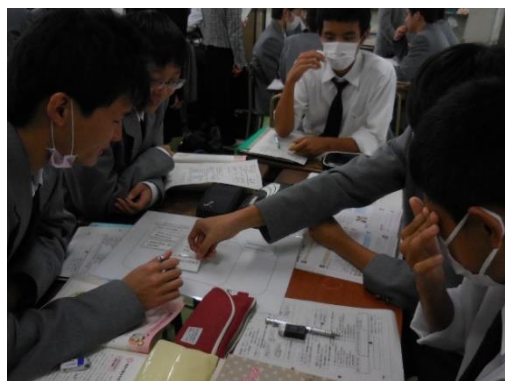
このほか、仲間とともに主体的に課題に取り組むアクティブラーニングの手法は、授業の様々な場面で用いられています。



地歴公民 (世界史)



理科 (生物)



家庭



情報

学んだ成果をポスターにして発表している様子 (体育)

